



宇久っ子

学校だより

令和4年8月29日

文責 日高 智明

【教 育 目 標】ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる児童の育成

【キャッチフレーズ】元気いっぱい・笑顔いっぱい・花いっぱい

【こんな子どもに】かしこい子・やさしい子・げんきな子



学校
H
P

『2学期スタート』

学校に子供たちの声が戻ってきました。長い夏休みが終わり、今日から2学期のスタートです。始業式で話した内容について紹介します。(一部抜粋)

1学期のふり返りであいさつは、達成度が90%を超えたことがないので、2学期の目標にしましょう。特に、横断歩道や校門でのあいさつが、元気のない人がいます。朝から元気な声であいさつをしたり運動をしたりすると、学習にもよい効果があると言われています。それに、横断歩道や校門での元気なあいさつは、地域の人も元気していますよ。しっかり続けて宇久を元気にしましょう。

よいところを見つけるは、自信をもってがんばったと言えるようになってほしいです。よさを見つけるには、当然お友達など周りの人のことをよく見ておかななくてははいけません。2学期は、周りの人のことを見るように、気がけてほしいです。そして、よさというのは小さなことでもいいんです。当たり前なことでも、それができるのはえらいことです。例えば、ごみを拾ってゴミ箱に入れることや、友達にお勉強を教えているのもよいことですね。見つけたことを相手に伝えると相手もうれしくなります。ぜひ伝えるようにしていきましょう。

2学期は、頭も体も大きく成長するチャンスです。でも、このチャンスを生かせるかは、あなた自身にかかっています。自分から努力しなければ、どれだけチャンスがあっても、生かすことはできません。

今年行われた水泳の世界選手権のアーティスティックスイミングの個人で乾友紀子選手が、日本人として初めて優勝しました。乾選手は、子供の頃から今の日本チームの井村コーチに指導されてきたのですが、この井村コーチの指導は厳しいことで有名です。乾選手も、自分ではとってもがんばっていると思っているのに、がんばりが足りないとい度何回も言われたそうです。とってもがんばっている時に、がんばっていないって言われるのはつらいですね。それなのに、乾選手は、「楽しいんですよ。」と言うんです。なぜ楽しいと言えるのか。がんばっていないと言われて、乾選手もやっぱり落ち込むらしいんです。でも、井村コーチは、今とってもがんばってできていることの少し上を求めてくるらしくて、くそっと思ってがんばるとできるようになる。その経験をくり返しているうちに、気づいたことがあったらしいのです。それは、「自分の限界を自分で勝手に決めてがんばることをやめていた。」ということです。

そうやって、自分の限界を勝手に決めず少しだけ上をめざしてがんばることをくりかえした結果が、世界選手権での優勝だったそうです。がんばっていないと言われて、そこでやめていたら優勝するチャンスは生かしていなかったということですね。

チャンスは、みんなに与えられています。しっかりチャンスを生かす2学期にいきましょう。